



あと一步の向上に向けた取組

函館市立中島小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- 基礎的・基本的な知識や技能の定着を目指すための「放課後学習」や朝の学習タイムを利用した「漢字検定」の実施
- 家庭学習の習慣化を目指す「家庭学習のてびき」や「学習のきまり」の配付
- 夏季休業及び冬季休業中の学習サポートの実施及び「チャレンジテスト」の活用
- 職員の授業力向上に向けた全員による授業公開を行う校内研究の推進

2 取組の概要

- 放課後学習について
 - ・木曜日課を設定し、放課後の時間を確保するとともに、習熟度別の学習を全教職員で担当し、学習意欲・理解力の向上を図る。
- 校内漢字検定について
 - ・朝の学習タイム（金曜日を基本）を活用し、学校独自に作成したテキストを基に5問の漢字の書き取りを1単位として、各自が継続的に漢字の習得を目指す。
- 家庭学習の習慣化について
 - ・発達段階に応じた「家庭学習のてびき」の配付や学習に関する家庭への啓発資料として「学習のきまり」を配付し、学力向上における家庭との連携を図る。
 - ・長期休業中の学習サポートの実施により、休業期間中の学習習慣の定着を図るとともに、児童の学習課題に関する指導助言を行う。
- チャレンジテストの取組について
 - ・朝の学習タイムを中心に活用し、基礎基本の定着と主体的な活用能力の向上を目指す。
- 授業力の向上について
 - ・言語活動の基礎・基本となる「読む力」を確実に身に付けるための校内研究を推進し、全員による授業公開を通して授業力の向上を目指す。

3 成果（○）と課題（●）

- 基礎的・基本的な知識の定着が、「できた喜び」や「自信」につながり、学習意欲や態度の向上が見られるようになってきている。
- 「家庭学習のてびき」等の家庭配付や「長期休業中の学習サポート」の実施により、学習習慣づくりが進んできている。
- 児童の学習意欲をより高めるために、児童による授業評価や教師相互の授業評価を行い、校内研究の活性化を図る必要がある。
- 学校のめざす授業を家庭や地域に広く公開することで、家庭と連携し、授業との関連を図った家庭学習の取組を工夫する必要がある。